

び ぶ り お



VOL. 15 NO. 5 University of the Ryukyus Library Bulletin 1982.12.1

「学而不厭」

—図書館玄関表札の制作にあたって—

安次富 長 昭

学問が科学という言葉におきかえられて研究・教育がなされてくると、元来、学問の意味の中にある芸術や哲学などの側面が、ややもすると学問とは無関係のように思われるようである。特に昨今の科学が、細分化された状況で研究・教育が進められてくると、ただそれぞれの専門技術のみが重視され、学問の本質や目的など学問そのものの意味が見失われる危険性がある。

例えば、大学を卒業した者が罪を犯して、その悔いをただ身内の者だけに申し分けないと思っているだけで、社会に対する責任や自分が受けてきた学問に対するプライドなど、少しも意識していない場面をニュースでみるときそれを感じる。また、高等教育を受けてきて、ある専門領域についてはかなり優れた技術をもち地位もありながら、字は悪筆(乱暴)で、その上、絵は子供のときからダメだと平気で口にする人はいくらでもいるが、子供のときから算数や国語がダメだったという人は殆んどいない。

どうも、日本の一般社会的風潮の中では、算数や国語など、いわゆる知識だけが大切に、道徳や芸術などはどうでもよいと思っているのではないかという疑問が起こる。算数や国語がダメでは高い地位に上がれないが、字や絵がダメでもその地位には上がれるので恥にはならないと思っているのだろう。ところが、国全体がそのような意識で科学技術を伸ばし生産性を上げ、経済大国と肩を並べてみたところで、外国から「うさぎ小屋」に住む日本といわれれば、すぐそうかと思ひこみ自信を失って

目 次

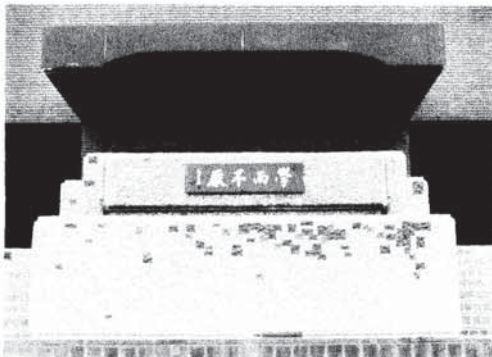
学而不厭……………安次富長昭	1	本学教官著書寄贈コーナー……………	7
ブラウジングコーナー		絵画寄贈(写真)……………	8
「マチ棒」 「ID異聞」……………	3	投書箱……………	10
感情的油虫宣言……………	4	新着図書案内……………	11
電算機の始動式……………	5	年末年始の業務……………	14
貸出業務の変更について……………	5	図書館事情……………	15

しまう。生産性や経済性だけではほんとの自信は持ち得ないことを認識していないのである。もし、小泉八雲が「日本文化の真髓」の中で指摘しているように、「うさぎ小屋」のような建築様式でも、その間取りをうまく活用し、数少ない生活用具でもって欧米に決して劣らない文化生活をいとむことのできる技術、そしてその上に、優れた芸術を持っている国であることを自覚しておれば何もなくじけることはないはずである。

大学は学問をするところと私は常日頃思っている。方法論としての研究・教育を考えることも大切なことだが、何故、学問をするのか、或いは、学問とは何か、を常に問うことがより大切なような気がする。そして、大学の図書館はその中心としての場になって欲しいと願っている。ところが、私は大学に勤めて二十余年になるが、図書館に行ったのは数える程しかない。しかも、ふらりと行って、何か新しい刺戟や新しい発見はないだろうかと無目的の目的で入ったことは一度もなく、すべてが当面する課題の資料を探すための単一目的のためであった。だから、その目的が満たされれば（或いは満たされなければ）さっさと帰ってきた。何故、図書館にはそれ以上の魅力がないのだろうか。街の本屋でさえ、始めから買いたい本があって入るわけではないが、そこに並んでいる本の表紙の文字やデザインを見るだけでも現代の息吹きを感じるし、気軽に新刊書を取り出してめくるだけでも刺戟を与えられることがある。ましてや自分ではなかなか買えない豪華な画集なども取り出して見られる本屋などは大変有難い。こうなると、本屋はただ本を売買するだけの機能だけではなく、ひとつの文化的コミュニケーションの場としての機能をもったところとも考えられるのである。

さて、図書館は図書や学術資料を保存し利用させるだけではなく、大学の学問の中心として、現代の文化的コミュニケーションや学際的交流の場としての設計はできないものかと考えていたところへ、七月頃、図書館長から玄関表札の製作依頼を受けた。

私は、まず表札には学問を象徴する言葉を掲げるのが第一だと考え、それを探すことから始めた。一九六三年一月に湯川秀樹博士が来学され、その折に揮毫された「学而不厭」の扁額が図書館に保存されていたのでその言葉の意味を調べてみた。これは、論語の中の「子曰、黙而識之。学而不厭。誨人不倦。何有於我哉」（子曰く、黙して之を識す。学びて厭わず。人に誨えて倦まず。何か我れにあらんや。）の一節で、つまり「学而不厭」は、「学び、学び、そして学ぶ。決してあきらむということはない。これがわたしの日常だ」（中国古典名言事典より）ということだから図書館にふさわしい言葉ではないかと思ひ、扁額を借用して研究室でひと月ほど眺めていたら、なんとまた、湯川先生の書があきることのない味わいがあるではないか。湯川秀樹といえば何も私が説明するまでもなく、理論物理学の権威で日本人として始めてのノーベル賞受賞者である。それがどうして字もこのようにすばらしいのか。最初に述べたように、学問は学芸を修めること、つまり真善美を統体として追求することであり、真の学者は知識と同時に哲学や芸術も備わっているということであろう。



私は、この揮毫が図書館の表札として最上のものであることを館長に上申し製作にとりかかった。表札を掲げる建築空間の条件に合わせて、扁額の文字を一・三倍に拡大し、文字と文字の間隔を調整しながらレイアウトした。石材は、県内産最上の石である久米島仲里村島尻の輝石安山岩を使用し、揮毫の精神と芸術性を失わないように留意しながら彫刻を依頼した。

九月二日、完成した表札の前で、学長、館長および職員が列席し、彫刻を担当された沖縄大理石社長石嶺実彦氏の司式のもとに除幕式がとり行なわれた。私は、

図書館が学術研究資料のみならず、芸術資料も増やして環境を整備し、今後更に文化的、学際的交流の場として充実していくことを心ひそかに期待している。

(あしとみ ちょうしょう：教育学部教授・構成)

ブラウジングコーナー

マチボー（綱巻棒）

大きな重い石柱を運ぶ際に、大きさや、重さによって、4人とか、6人、8人で、かつぐのだが、6人以上になった場合は背の低い者が中に入ると肩がとどかず、楽をするし、高い者が中に入ると、他の者より余計に荷重がかかることになる。又背の高さの順序にならぶと低い方へ荷重が多くかかる結果を招く。そのような不公平をなくするために、あらかじめ大きな棒にロープを巻きつけ、その棒と石柱をしばりつけて、二人一組の棒をまきつけたロープの適当な所にさし貫いて、6人又は8人でかついだのが、マチボー（マチブ）である。ロープがすべりやすいように棒に豚油などをぬったりしていた。しかしマチボーの場合でも、かけ声もろともかつぎ上げるのだが、立ちおくれたものは腰がまがったままで、苦しい思いをしなければならなかった。余程体力に差がなければ、ように腰をのばすことはできなかった。したがってマチボーで石を運ぶときは、威勢よくやっているように、はたのものには見えただろうが、担ぐ当人たちは死にものぐるいであった。又坂を登る場合は綱をつけて前から引っぱる役目の人もいたという。昔は亀甲墓の墓石を運ぶ場合は、村中総出で、50、60人以上の男たちが担いだそうだが、その前を女たちが景気づけに、パーランクー（小鼓）をたたいて、うたい踊りながら、男たちをはげまし、運び進んだということである。（参考調査係 T.Y.）

I D 異 聞

I D といえば、I Dカード（Identification Card）のことを、地元出身で、米軍に勤めたことのある人なら思いだすことと思われる。

現在でもそうだと思うが米軍基地に入る場合はすべてゲートで身分証明書を求められる。

経済活動が発達し、より正確さと迅速性が求められるようになり、キャッシュカードやクレジットカードなるものも登場してきた。

琉大図書館では日常業務の電算化の一環として、最初に閲覧業務の電算化を開始したことは周知の通りである。貸出・返却業務を電算化するには利用する人と、利用される図書をそれぞれ他のものから識別（コード化）する必要がある。そのため去った9月1日から18日までの間、利用者I Dの張りつけ作業を実施したが、館内の掲示はもとより、各学部掲示、館報の“びぶりお”、“学報”など、十分には読まなかったことがうかがわれた。

学生のなかには、曰く“IC”をちょうだいとか、“押印”してくれとか、というものがおり、また教職員のなかにはこれまで身分証明書を求められたことがなかったため、職員証の存在をしらず教授職員会の組合員証を提出する先生もおられ、更にI Dのシールを張るため職員証を求めると何を今更といったような顔をされたりして窓口では困ったものである。

欧米社会は文書主義の国といわれているが我国ではそれほどでもないで、そのせいもあろうかと思われるが掲示や、文書を読む習慣があまりないようにみうけられる。

今日は情報化社会といわれ、毎日印刷物の山にかこまれて住んでいるが必要な情報をうるすべは身につけたいものである。（閲覧係 H.A.）

感情的油虫宣言

千原キャンパスへ通いつけてどのくらいになったろうか。この無機的な牧舎の群れる所、一日一日は精神病院的平穩不事のうちに過ぎてゆく。ときおりお年玉だかお目玉だか、「可」とか「不可」とか書かれた紙片が回されてくる。マタアナタノ無差別てろノ餌食ダ。…サン、…サン、…サン…。出席簿ヲ斜線で埋メテイクト、アル点デどこかんトイク。ハイ、一人沈没。アナタハ私ヲ知ラナイ。毎回講義ニ出席シテ堂々ト単位ヲモラッテイク連中ト同ジ学生ナノニ。アア。

四年間を食い潰し、やり過ぎすだけでいい。何も期待せず、教室に座っていればいい。それが連中の教えに適ったことでもあるのだ。センセイハ何故ワタシノ顔ヲ見ナイノカナ。理由は判っている。あなたも私に何も期待していないからだ。物理的に安定した講義ノートと、物理的に存在が確認できる黒板にだけ目を向けていれば、この稀薄な学生の意識。

三人ずつきちんと並べられた目に見えない腐乱死体、漂う空虚さから逃れられると思っているからだ。私だってきっと同じように振舞うだろう、私が臆病者で自分の身体だけを案ずる卑怯者になった時には。

いや、そもそもの初めから、私もあなた方同様臆病者だったのだ。でなければ大学などという場所に逃げ込んだりはしなかったに違いない。——僕等ハ奮ワレテキタ——その通り、私達は一切奮われ、なにも身につけずにここへ来た。奮われたものが何だったのか、それすら忘れてしまった。

さあ、ここで最後の仕上げだ。いいかね、夢とか希望とか、そういったことを考えてはならない。現実を見つめるんだ。現実！現実！現実！

出席日数の現実！ダンス・パーティの現実！サークル共用室の現実！駐車禁止、立入り禁止。そうした現実で幾重にも囲い込むがいい。腐敗した精神の幻想を逃さないために。鉄筋コンクリートのビルの周りいっぱい、鎖を張り巡らすがいい。もはや誰も反逆を試みようとはしないだろう。私達はただ眺めているだけだ。ナントコッケイナ！かって私もこの障壁を越えようと試みたものだ。だが突破したその先に何があつたらう。

高尚な、役立たずの脳味噌がたんつまつた冷蔵庫だ。続けてくれ。鍵をかけ、鎖を張り、我々に黄金の宝物庫の幼想を抱かせ続けてくれ——！

ワタシハスッカリ混乱シテシマッタ。ワタシノ世代ハ勢イヲ失ッテシマッタ。何故だろう。この直線で構築された迷宮の中で何故私は立ち止まっているのだろうか。私は疾走する奴らの姿を見ない。某氏の述べたもうごとく、私は子捨ての苦しみを知らない世代、祭りの熱狂乱舞を知らないくそつたれ世代の一員だ。そいつら全員が血肉を吸い上げられ、骨抜きにされて幽霊みたいにキャンパスの中を往き来する様は、まさに目を被うばかりだ。

何故だろう、私はあなた方同様暗闇に浮遊する知性と教養の化け物であり、このまま千原キャンパスで腐れていく精神だ。だがほんのちょっとだけ——そう、ほんのわずか、私は実体を取り戻したいと思っただけなのだ。

ソレダケノ違イサ。ナノニ、ココデ私タチトアナタタチハ訣別シナケレバナラナインダネ。そら、卑怯者の中にも目を開こうとした奴らがいる。目を開いて周囲を発見し、自分を発見したのだ。

実体を——コンクリートの廃墟と、迷路のようなドブの中ではいざり回るゴキブリでしかない自分を——取り戻した奴らがいるのだ。この恥知らずな黒い虫どもが、実に我々の実体なのだ。

肥大化した知性の権化達よ、何故理解しないのだろうか。私もあなた方もただのゴキブリなのだ。そしてこの小さな虫、一切の高尚な精神とか知識から遠ざけられた奴の内にこそ、真に高貴な魂が宿っているのだ。

墓場の主達よ、もしあなた方が望まぬのならそれでもいいだろう。テメエラ腐レルナラ腐レテシマエ！学問の意義とか学生の熱情とか、そういった古い呪文と共に崩れ去る方を選ぶなら。奴ら生き残りたい連中だけが、乞食やゴキブリのように徘徊するキャンパスで、空気より更に希薄な存在となり、やがて無に等しくなるまで漂い続けるがいい。

(理学部二年) 佐藤 玲子

お知らせ

電算機の始動式

長年の懸案だった閲覧業務の電算化始動式が、去った10月22日（金）の午前9時30分から10時までの間、学長を始め、図書館長、計算センター長、各学部長、図書館運営委員、本部事務局関係者、富士通職員、計算センター職員及び図書館職員参加のもとに盛大に行なわれた。

式典は館長の挨拶に始まり、学長祝辞、富士通側の挨拶があり、ソフトウェア一式の計算センター長より館長への譲渡の後、学長、館長、及びセンター長3人によるテープカットが行なわれた。そしてひきつづき、貸出し、返却、利用者問合せなどのデモンストレーションが実施された。

また沖縄資料閲覧コーナーには、コンピューターで打ちだされた約8万冊分の分類別冊子目録や、学生名簿、業務日報、督促一覧、統計表、その他の帳票類が展示され、出席者はあらためてコンピューターの威力に感心したようであった。



電算機の稼動により、昨年9月1日の新館開館に続き、琉大図書館はまた歴史の一ページがめくられたが今後予想される質量ともに増大する利用者の要求に、よりすぐれたサービスが求められる。

また図書館では更に多くの書誌情報を入力し、利用者へのよりよい学術情報の提供をはかるとともに将来は全国ネットにのせることも考えている。

（閲覧係）

貸出業務の変更について

電算化に伴い、去った10月22日の後学期から下記の通り貸出業務を変更しましたのでお知らせします。

記

1. 貸出時間 平日 9:30~20:30 (但し土曜日は9:30~16:00)
休暇中 9:30~16:30 (但し土曜日は9:30~12:00)

注：貸出の締め切りはいつでも電算機の後処理のため、閉館30分前に打ち切りますので御注意下さい。

2. 更新手続

更新は1冊で、期限内にやらないとできなくなりますので気をつけて下さい。

3. 貸出禁止

従来通り、1冊でも貸出期限切れの図書があると貸出できませんので御注意下さい。

4. 貸出冊数及び期間

貸出冊数及び期間が下表の通り変更しました。

なお、電算化したため利用者IDのない方（研、聴、委託生でID未作成者を除く）は一般図

書、稀用図書（教官への研究用、雑誌、参考・禁帯図書を除く）の貸出しができなくなりますので必ずIDをもらって下さい。（学生証及び職員証のない方は早めに再交付してもらい図書館カウンターでIDを張らして下さい。）

5. その他の機能

貸出、返却、更新（延長）処理のほか、利用者問合せ、図書問合せ及び予約処理等が可能である。

イ. 利用者問合せ—これは利用者の貸出状況、及び予約状況がただちにわかる。

ロ. 図書問合せ—利用したい図書の貸出状況をしりたい場合はその図書ID番号（分類別冊子目録からしらべる）でその図書の貸出、予約状況がわかるようになっている。

ハ. 図書の予約—これは図書問合せにより、返却月日等がわかるのでその図書について予約者がいなければ予約することができる。

（閲覧係）

（一般貸出）

身分 資料区分		身分							
		1 学部学生	2 院生	3 専攻科生	4 研究生	5 聴講生	6 委 託の 生他	7 教 官	8 職 員
0	共用図書	期間 冊数 1000 5(4)	10(10)	10(10)	10(10)	10(10)	10(10)	10(10)	10(10)
1	指定図書 一 般	10(10) 2(2)	10(0) 2(0)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(-) 1(-)	0(-) 0(-)
2	指定図書 専 門	10(10) 1(1)	10(0) 1(0)	10(10) 1(1)	10(10) 1(1)	10(10) 1(1)	10(10) 2(-)	10(-) 0(-)	0(-)
3	沖 縄 開架図書	10(10) 2(2)	10(0) 2(0)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(-) 2(-)	10(-) 2(-)	
4	沖 縄 閉架図書	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	M M	M M	
5	アメリカ 研 究	10(10) 2(2)	10(10) 3(3)	10(10) 2(2)	10(10) 3(2)	10(10) 2(2)	10(10) 2(2)	10(-) 5(-)	10(-) 2(-)
6	参考・禁 帯出図書	0 0	M 0	0 0	0 0	0 0	M M	M M	
7	雑 誌	0 0	M 0	0 0	0 0	0 0	M M	M M	
8	研 究 用 図 書	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	M M	0 0	
9	視 聴 覚 資 料	0 0	M 0	0 0	0 0	0 0	M M	M M	
合計貸出 可能冊数		12(11)	18(11)	12(11)	16(11)	12(11)	12(11)	30(5)	14(5)

注：1. 0～3、5は今回の電算化対象図書。

2. Mは従来の手作業。

3. ()内数字は現行。

（長期貸出）

身分 資料区分		身分							
		1 学部学生	2 院生	3 専攻科生	4 研究生	5 聴講生	6 委 託の 生他	7 教 官	8 職 員
0	共用図書	7(6)	15(10)	7(6)	10(6)	7(6)	7(6)	25(-)	15(-)
1	指定図書 一 般	2(2)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	0
2	指定図書 専 門	1(1)	1(-)	1(-)	1(-)	1(-)	1(-)	2(-)	0
3	沖 縄 開架図書	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)	2(-)
4	沖 縄 閉架図書	0	0	0	0	0	0	0	0
5	アメリカ 研 究	2(2)	5(5)	2(2)	5(3)	2(2)	2(2)	10(-)	3(-)
6	参考・禁 帯出図書	0	0	0	0	0	0	0	0
7	雑 誌	0	0	0	0	0	0	0	0
8	研 究 用 図 書	0	0	0	0	0	0	0	0
9	視 聴 覚 資 料	0	0	0	0	0	0	0	0
合計貸出 可能冊数		14(11)	25(15)	14(8)	20(9)	14(8)	14(8)	41(-)	20(-)

注：期間

夏—休みに入る10日前から9月10日頃まで。

冬—12月18日頃から1月10日頃まで。

春—休みに入る10日前から3月25日頃まで。

〔本学教官著書寄贈コーナー〕

今回は、昭和57年8月8日より昭和57年11月20日まで御寄贈頂きました分を掲載致します。敬称略

- 東江 康治（心理） 「乳幼児の生活指導」 東江康治他編 北大路書房 1979
- 古川 博恭（地学） 「九州・沖縄の地下水」 九州大学出版会 1981
- 藤原 幸男（教育） 「子どもをどうとらえるか—小学校低学年—」 藤原幸男他著、明治図書、1981
 「学級づくりの年間計画事例集—小学1・2年編—」 藤原幸男他著、1980
 「集団思考の成立とは何か」 藤原幸男他著 明治図書、1975
- 池宮 正治（文学） 「近世沖縄の肖像—文学者、芸能者列伝—上・下」 ひるぎ社、1982
 「沖縄芸能文学論」 光文堂、1982
- 北嘉 政夫（短大） 「沖縄民俗学の方法—民間の祭りと村落構造—」 新泉社、1982
- 津波 高志（社会） 「沖縄国頭の村落 上下」 新星図書
- 玉城 政光（教育） 「行動工学の基礎理論—伝統的心理学への批判—」 B. F. Skinner 著、
 玉城政光監訳、佑学社、1976

—投 書 箱 よ り—

- 新しい郷土資料目録を作ってください。
 回答：新着の資料はコンピューター編集による目録が目録室に出されています。古い資料は既刊の目録をご利用下さい。
- 郷土資料閲覧コーナーが暗くて、又落着いて利用できません。
 回答：沖縄関係資料は貴重資料扱いをしている関係上、管理の面からカウンターの前に設置しました。照明についてはこれまでの100Wを150Wに取り替えてあります。
- 「すばらしい本にふと出会うことの少い郷土資料」について考慮して下さい。
 回答：郷土資料の管理についてはいろいろの方法が試行されましたが、現在は補充不可能な資料は閉架式として、補充可能な資料は1部づつ開架にしています。書誌類やカード目録等を利用して、種々な資料と出会う楽しみを味わって下さい。
- 「図書購入受付簿」の図書購入に際しては規準がありますか、一人で何十冊注文してもよいのでしょうか。
 回答：琉球大学附属図書館「購入図書選択基準」の第3条で、「学生が購入を希望する図書で、大学教育上好ましいと思われる専門図書、教養図書はできる限り購入する」とうたわれていて、予算の許す範囲で、できる限り購入していますが、従来は学生一人当たり2～3冊の注文が普通です。一人の学生が大量の特殊専門書を希望する際は、蔵書構成のバランス上削減されることがあります。
- 閲覧室が騒々しいので静かにさせてほしい。他4件（再出）
 回答：貼紙などでも効果がないようですので、極力職員が注意するようにします。学生諸君もお互に留意して下さい。
- 一人用閲覧機が低くて、椅子にすわると足が机の下に入りません、低くめの椅子と取り替えて下さい。
 回答：11月8日に改善しました。

〈絵画作品の寄贈〉

琉球大学で美術を担当され、退官なさった先生方の作品（絵画）を寄贈して頂き、安次富長昭教授の指導で図書館2階ロビー及び閲覧室に展示しました。

御寄贈くださった先生方の御健康をお祈りし、厚くお礼申し上げます。

又、故人となられた先生方の御遺族のご芳志に対しまして、衷心より感謝致します。

敬称略
五十音順



「琉球の民家」

〈F60号1954年作〉

安次嶺 金正

琉球大学在職

1954年4月～1982年3月



「塔の群れ」

〈変型120号1963年作〉

安谷屋 正義（故人）

琉球大学在職

1953年4月～1967年7月



「熔樹の森の囁」

〈F100号 1971年作〉

大城 皓也 (故人)

琉球大学在職

1950年4月～1952年3月



「祭の終点」

〈F50号 1974年作〉

宮城 健盛

琉球大学在職

1957年4月～1981年3月



「季節風」

〈F40号 1971年作〉

山本 恵一 (故人)

琉球大学在職

1952年3月～1977年11月

新着図書案内

- | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------------------|---|--|---|--|---|--|------------|
| 出現する書物 | ポスト・ブックレビュー | 019-Ku-53 | を読む | 秋間実著, 東京, 大月書店,
1981, 202p. 20cm | | | | |
| | 倉本四郎著, 東京, 冬樹社,
1981, 280p. 20cm | | 精神分析読本 | 大橋秀夫著, 東京, サ
イエンス社, 1981, 254p. 19cm (人
文社会叢書7) | 146-O28 | | | |
| 頭 | の散歩 | 森村稔著, 東京, 産業能率
大学出版部, 1981, 223p. 19cm | 049.1-Mo56 | 人生の大学に卒業はない | ビジネスマ
ンの行動指針60 | 159-N37 | | |
| 夢 | 溪筆談3 | 沈括著, 梅原郁訳注, 東
京, 平凡社, 1981, 295.41p. 18cm
(東洋文庫 403) | 049.2-Sh57 | | | | | |
| 報道論入門 | ニュースの世界 | 伊大知
昭嗣著, 東京, 教育資料出版会,
1981, 262p. 21cm (芸術教育叢書) | 070-161 | 世界の聖域 | 17, 講談社出版研究所編,
東京, 講談社, 1981, 151p. 33cm.
17-マヤの聖域, 江上波夫, 大貫良
夫著. | 160.8-Se22 | | |
| ル | ポライター入門 | 取材の仕方から書
き方まで, 青地辰編著, 日本ジャー
ナリスト専門学院出版部, 1980,
291p. 19cm (ジャーナリスト双書1) | 070.16-A51 | 神饌 | 神と人との饗宴 | 岩井宏実, 日
和祐樹著, 京都, 同朋舎出版, 1981,
260p. 27cm, 写真: 山崎義洋 | 176.5-I93 | |
| 日本 | マス・コミュニケーション史増補 | 山本文雄編著, 東京, 東海大学出版
会, 1981, 392p. 22cm | 070.21-Y31 | 日蓮 | 聖人の歩まれた道 | その生涯と足
跡をたずねて, 市川智康著, 東京,
水書坊, 1981, 237p. 19cm | 188.92-I14 | |
| 新聞 | の犯した戦争責任 | ある戦中派記
者の証言 | 池田一之著, 東京, 経済
往来社, 1981, 297p. 20cm | 070.21-I32 | 信仰と教育と | サン・モール修道会,
東京百年の歩み | 沢川久子, 島田恒
子共著, 東京, 評論社, 1981, 352p.
20cm | 198.2-Sh21 |
| 日本 | の韓国報道は信じられない | 駐日特
派員が日本の新聞を告発 | 李度珩著,
東京, エール出版社, 1981, 182p.
19cm | 070.4-R 32 | 歴史と名将 | 戦史に見るリーダーシッ
プの条件 | 山梨勝之進著, 東京, 毎
日新聞社, 1981, 380p. 20cm | 209-Y35 |
| 心 | なき記事 | 清水英夫著, 東京, 山手
書房, 1980, 221p. 20cm | 070.4-Sh49 | 古文書 | 解読用語事典 | 池田正一郎著, R-210.02-I32
新人物往来社, 1981, 473p. 20cm | | |
| 現代 | 新聞紙学 | 殿岡昭郎著, 町田, 玉
川大学出版部, 1979, 186p. 19cm
(玉川選書 110) | 070.4-To63 | 人物史 | でまなぶ日本の歴史 | 黒羽清隆
著, 東京, 地歴史社, 1980, 300p. 19
cm | 210.1-Ku72 | |
| 日本人 | にとっての東洋と西洋 | 谷川徹
三, 福田定良著, 東京, 法政大学出
版局, 1981, 299p. 22cm | 104-Ta88 | 写真集 | 原爆をみつめる | 1945年広島・
長崎 | 飯島宗一, 相原秀次編, 東京,
岩波書店, 1981, 235p. 28cm | 210.75-I27 |
| 人生 | の考察 | アレキシス・カレル著,
渡部昇一訳, 東京, 三笠書房, 1981,
288p. 20cm | 113-C22 | 中国史 | の散策 | 北京から敦煌への道 | 野
村耀昌著, 東京, 日貿出版社, 1981,
340p. 22cm | 222-N95 |
| 戦中 | と戦後精神 | 鈴木正著, 東京, 勤
草書房, 1981, 243p. 20cm | 121.9-Su96 | 岩手 | 宰相論 | 日本を動かした岩手県人 | 七宮洋三著, 東京, 新人物往来社,
281.22-Sh25 | |
| 哲学 | を学ぶ人へ | 『フォイエルバッハ論』 | 134.633-A35 | | | | | |

- 1981, 227p. 22cm
- ある女性政治家の半生 加藤シヅエ著, 289.1-Ka86
京都, PHP研究所, 1981, 223p. 20cm
- 自由民権の先駆者 奥宮健之の数奇な生涯 糸屋寿雄著, 東京, 大月書店, 1981, 233p. 20cm
- ホメイニー おいたちとイラン革命 289.2-Kh
H. ヌスバウマー著, アジア現代史研究所訳, 東京, 社会思想社, 1981, 245p. 20cm
- 山を読む事典 徳久球雄編, 東京, 東京堂出版, 1981, 380p. 19cm R-290.33-To36
- これからの日本—四つの課題 中山太郎, 梅棹忠夫共編, サイマル出版会, 1981, 297p. 19cm 302.1-N45
- 鏡のない国 世界の知識人がみた日本 加瀬英明著, 山手書房, 1981, 228p. 19cm 302.1-Ka74
- 国際感覚と日本人 ある国際ビジネスマンの半生 田端利夫著, 東京, 新泉社, 1981, 229p. 19cm 304-Ta11
- 「常識」の研究 山本七平著, 東京, 日本経済新聞社, 1981, 218p. 19cm 304-Y31
- 権力の構造 現代を支配するもの 秋元律郎著, 東京, 有斐閣, 1981, 239p. 19cm (有斐閣選書) 311-A35
- ポーランド「自由」への挑戦 尾崎恒著, 京都, PHP研究所, 1981, 227p. 19cm 312.349-O96
- ミッテラン戦略 その秘密と構造 梅本浩志著, 合同出版, 1981, 246p. 19cm 312.35-U71
- 天皇制を問いつづける わだつみ会編, 東京, 筑摩書房, 1978, 281p. 20cm 313.6-W12
- 日本人に感謝したい アメリカの対日戦略成功の秘密 マイケル・アームストロング著, 宮崎正弘訳, 東京, 日新報道, 1981, 225p. 19cm 319.153-A79
- やさしい法令の見方・書き方 小島和夫著, 東京, 公務職員研修協会, 1981, 393p. 19cm 320-Ko39
- 経済記事に強くなる本 難解だった経済面がスラスラ読める 1981年版, 秋山哲編, 東京, エール出版社, 1981, 197p. 18cm 330.4-A38
- 秘書 大田原房子, 大内三千代著, 東京, 東洋経済新報社, 1981, 246p. 19cm (私の事仕) 335.92-O81
- 数字で見る日本のあゆみ [1981] PHP研究所編, 京都, PHP研究所, 1981, 533p. 19cm 351-Ph
- 日本人と隣人 中根千枝 [ほか] 著, 東京, 日本YMCA同盟出版部, 1981, 247p. 20cm 361.4-N38
- 間違いない住宅えらび 石川澄夫著, 愛陸堂, 1981, 206p. 19cm 365.3-I76
- 事例でわかる労働法の知識 佐々木力著, 東京, 中央経済社, 1981, 205p. 19cm 366.1-Sa75
- 愛と感動と性格の教育 藤原正教著, 東京, 第一法規出版, 1981, 343p. 21cm 370.4-F68
- 道徳指導と教師の姿勢 榊原悠一著, 東京, 明治図書出版, 1981, 148p. 19cm 371.6-Sa31
- 世界の教科書—歴史 ほるぶ出版, 1981, 24cm, トルコ: N. アクシト著, 永田雄三 [他] 編訳, 中国: 人民教育出版社中小学校通用教材歴史編写組著, 野原四郎, 斎藤秋男編訳, エジプト: P. A. リドワーン, E. R. ハツラーズ著, 池田修訳, フランス: L. ベルネ, R. ブランション, M. バレスト, J. マシエックス著, 井上幸治編訳, ポルトガル: A. H. デ・オリヴェイラ・マルケス著, 金七紀男編訳 375.932-Se22
- リーダーシップ アメリカ海軍士官候補生読本 アメリカ海軍協会[編], 武田文男, 野中郁次郎共訳, 東京, 日本生産性本部, 1981, 276p. 20cm 397.1-A44
- 化学を学ぶ人のための自然科学概論 田辺清一著, 東京, 東海大学出版会, 401-Ta83

- 1981, 206p. 19cm
- 現代を知る科学常識300 50字要点500 R-403.3-Y84
 字解説 万昌夫編, 東京, ごま書房, 1981, 312p. 19cm
- 数学屋の楽しみ バズル・ゲーム言葉 410.79-N98
 の遊びetc. 野崎昭弘著, 東京, 白揚社, 1981, 234p. 20cm
- 現代物理学者の生と哲学 マッハから 420.2-H84
 アインシュタイン 本多修郎著, 東京, 未来社, 1981, 300p. 22cm
- 創造の化学 現状と発展のあと 林太 430-H48
 郎著, 東京, 裳華房, 1981, 222p. 22cm
- 巨大な耳 宇宙のささやきを聞く ジ 441.6-Kr2
 ョン・クラウド著, 鴻巣巳之助訳, 東京, CQ出版, 1981, 277p. 21cm
- 恐竜図解大事典 D. F. グラット著, 小 R-457.8-G53
 島郁生訳, 東京, 築地書館, 1981, 222p. 26cm
- 環境は遺伝にどう影響するか 田島弥 467-Ta26
 太郎著, 東京, ダイアモンド社, 1981, 230p. 19cm
- 入門応用植物解剖学 D. F. カトラー 471.3-C98
 著, 遠山益訳, 東京, 共立出版, 1981, 210p. 22cm
- 海の野生動物 オーデュボンソサイエ R-481.72-L63
 ティブック レス・ライン, ジョージ・レイガー編著, 藤川正信訳, 東京, 旺文社, 1981, 240p. 32cm
- からだと薬のウソのようなホントの話 490.4-O55
 大熊房太郎著, パシフィカ, 1981, 292p. 19cm
- 人間を決めるもの 遺伝か環境か オ 491.69-G45
 リバー・ギリー著, 渡辺格, 志村紗千子訳, 東京, 紀伊国屋書店, 1981, 262p. 20cm
- 対人恐怖 人づきあいが苦手なあなた 493.76-I26
 に, 飯田真 [ほか] 編, 東京, 有斐閣, 1981, 305p. 19cm
- 健康百話 健康管理・健康食品なんでも事典 498.3-Ka92
 川畑信義著, 東京, 弘文出版, 1981, 19cm
- センサ工学 大森豊明著, 東京, テク 501.22-O63
 ノ, 1981, 329p. 22cm
- 生きざまの科学「科学的な生き方」こそ「悟り」への近道 中山正和著, 507-N45
 東京, 産業能率大学出版部, 1981, 204p. 19cm
- 街の再開発 近代的街づくりのすすめ 519.8-Ta76
 玉田弘毅, 東京, 有斐閣, 1981, 258p. 19cm
- 洋風住宅設計図集 増沢洵著, 東京, R-527-Ma69
 井上書院, 1981, 143p. 26cm
- 高級言語マシンの実際 箱崎勝也, 山 535.5-H18
 本昌弘著, 東京, 産報出版, 1981, 174p. 22cm
- エレクトロニクス革命 日本のマイクロ技術は世界を席卷するか ミカエル・オーム著, 高地高司訳, 東京, 日本能率協会, 1981, 258p. 20cm
- アモルファス合金, その物性と応用 563.8-Ma68
 増本健, 深道和明編, 東京, アグネ1981, 352p. 22cm
- 粉と粒の不思議 先端技術を支える粉 571.2-Mi68
 体の科学 三輪茂雄著, 東京, ダイアモンド社, 1981, 199p. 19cm
- 新現代衣料事典 月刊「アパレルファッション」編, 東京, アパレルファッション, 1981, 411p. 22cm R-586.03-A59
- 病気にならない新しい食事法 香川芳 596-Ka17
 子著, 富民協会, 1982, 210p. 19cm
- 日本の資源 21世紀への課題と対策 602.91-Ka16
 科学技術庁資源調査会編 [東京] 資源協会, 1981, 214p. 21cm
- 新しい農村'81 昭和55年度朝日農業賞 611.15-A82
 朝日新聞社編, 東京, 朝日新聞社, 1981, 270p. 19cm
- 世界のスパイス百科 トム・ストパー R-619.9-St7
 ト著, 小野村正敏訳, 東京, 鎌倉書房, 1981, 248p. 26cm
- 世界のチーズ百科 T. A. レイトン著, R-648.18-L44
 東京, 鎌倉書房, 1981, 222p. 26cm
- 広葉樹林とその施業 東京, 大日本山林会, 1981, 262p. 22cm 653.7-Ko97

- 塩 いのちは海から 谷克彦著, 東京, 669-Ta87
マルジュ社, 1981, 293p. 19cm
- 気分の時代 これからのライフ・スタイルとは? もうひとつの価値観とは? 渡辺寿彦著, 東京, 誠文堂新光社, 1981, 288p. 19cm
- 航空従事者への道 住田正二編, 新訂2版, 東京, 成山堂書店, 1981, 197p. 19cm
- 世界のラジオとテレビジョン [1981] 日本放送協会総合放送文化研究所編集, 東京, 日本放送出版協会, 1981, 328p. 26cm
- 魂の発見 シュタイナー学校の芸術教育 子安美知子著, 東京, 音楽之友社, 1981, 262p. 19cm (音楽選書)
- 美術教育学への道 山本正男著, 町田, 707.7-Y31
玉川大学出版部, 1981, 218p. 19cm
- 書と人間探求 河内雪峰著, 東京, 728.02-Ka91
木耳社, 1981, 257p. 20cm
- ビデオの楽しみ方 野田一郎著, 永岡書店, 1981, 212p. 21cm
- 名曲の生まれたとき 武川寛海著, 東京, 762-Ta62
共同通信社, 1981, 243p. 19cm
- レコード百科 歴史から鑑賞まで 宮本英世著, 東京, 誠文堂新光社, 1981, 283p. 19cm
- 戦後日本映画小史 瓜生忠夫著, 東京, 778.21-U89
法政大学出版局, 1981, 386p. 20cm
- ディリーストレッチ体操 安田矩明, 781.4-Y62
小栗達也, 勝亦絨一等編著, 大修館書店, 1982, 145p. 24cm
- 合気道のころろ 氣と理を和する合気道の道 植芝吉祥丸著, 東京, 講談社, 789.2-U47
1981, 208p. 20cm
- 死活妙機 本因坊秀哉解説 囲碁研究会編集, 東京, 山海堂, 1981, 795-H84
- 言語と心理 聞くこと・話すことのカニズム H.H.クラーク, E.V.クラーク著, 堀口俊一監訳, 東京, 桐原書店, 1981, 801.04-C74
- 言語文化の境界 赤祖父哲二著, 東京, 804-A32
- こびあん書房, 1981, 228p. 20cm
- 英語を斬って世界観を変えよ 渡辺恒蔵著, 東京, 泰流社, 1981, 275p. 20cm
- 知的表現力 中川昌彦著, 東京, 産業能率大学出版部, 1981, 222p. 19cm
- 日本語表記法の課題 武部良明著, 東京, 三省堂, 1981, 496p. 22cm
- 中国語のニュアンス まちがえやすい類義語・同義語 李嗣明著, 東京, 東方書店, 1981, 320p. 19cm
- 英語語源ものしり辞典 横井忠夫著, 大和出版, 1981, 200p. 18cm
- ヴァカーリスタンダード英和大辞典 Oreste Vaccari 著, ヴァカーリ語学研究所, 1967, 2319p. 30cm
- 英語基本動詞辞典 小西友七編, 研究社出版, 1981, 1862p. 22cm
- 天声人語 英文対照 第45集 (1981年夏の号), 朝日新聞論説委員室編, 朝日イブニングニュース社訳, 東京, 原書房, 1981, 241p. 19cm
- 英字新聞・速読法 テリー・フレデリクソン, ボール・ウェデル著, 朝日イブニングニュース社訳編, 東京, 朝日イブニングニュース社, 1981, 278p. 19cm
- 似た英単語の使いわけ トミー植松著, 玉川大学出版部, 1981, 233p. 19cm
- 小説とは何か 英米作家を中心に マージョリー・ボウルトン著, 田淵実貴男, 今井光規訳, 東京, 英宝社, 1981, 285p. 20cm
- 放送作家入門 ドラマ作法から生活白書まで 日本放送作家協会編, [東京], ライフサイエンスインフォメーション, 1980, 270p. 19cm
- 古語に聞く 竹西寛子著, 東京, 講談社, 1981, 197p. 20cm
- 声なき処に驚雷を聞く 「文化大革命」後の中国文学 高島俊男著, 東京, 日中出版, 1981, 223p. 19cm

現代ユダヤ系アメリカ文学 中西勝之 著, 東京, 原書房, 1981, 240p. 20 cm	930.2-N38	東京, 法政大学出版局, 1981, 434p. 20cm
劇作家J. M. シング研究 生存条件と 解放志向との間の緊張と調和 柘田 良一著, 東京, 朝日出版社, 1981, 316p. 21cm	932-Ma 66	チャーホフの生涯 佐藤清郎著, 筑摩 書房, 1977, 464p. 23cm
救われた舌 ある青春の物語 エリア ス・カネッティ [著], 岩田行一訳,	940.28-C15	ぼくのポーランド文学 「連帯」の革 命を生み出す精神について語る 工 藤幸雄著, 東京, 現代企画室, 1981, 390p. 19cm

年末年始の閲覧業務

12月24日(金)～27日(月)……………17時閉館, 但し25日(土)は12時30分閉館。
 12月28日(火)……………御用納めのため閉館
 12月29日(水)～1月3日(月)……………年末年始特別休暇のため閉館
 1月4日(火)……………御用始めのため閉館
 1月5日(水)……………17時閉館
 1月6日(木)……………平常どおり
 なお, 今年度から冬休みも長期貸出しを行いません。期間は12月18日(土)から
 1月10日(月)までです。

(閲覧係)

図書館事情

〔第141回図書館運営委員会要録〕

日 時: 昭和57年9月18日(土) 13:00～14:00

場 所: 図書館会議室

議 題

- ① 後期定例日について
- ② 貸出し業務の電算化に伴う貸出冊数及び日数について。
- ③ 1983年度新規購読雑誌及び中止について

報告事項

- ① 退官教官の絵画寄贈について
- ② 図書館正面玄関表札について
- ③ 図書費の要求について
- ④ 映画会について
- ⑤ 月例談話会について
- ⑥ 交通対策について

〔第142回図書館運営委員会要録〕

日 時：昭和57年11月15日（月） 13：00～14：00

場 所：図書館会議室

議 題

- ① 琉球大学附属図書館スライド作成機使用内規について
- ② 月例映画会について

報告事項

- ① 月例談話会について
- ② 医学部分館の設計について

〈オリエンテーション〉

（場 所：図書館視聴覚室）

人 員：教育学部社会科演習の学生20名

日 時：昭和57年5月31日（月） 15：20～17：00

人 員：法文学部英文科の学生15名

日 時：昭和57年10月21日（木） 14：00～15：00

人 員：教育学部理科教育の学生9名

日 時：昭和57年11月2日（火） 10：30～11：30

人 員：教育学部理科教育の学生9名

日 時：昭和57年11月10日（水） 10：30～11：30

〈図書館見学〉

人 員：東風平中学校の生徒25名

日 時：昭和57年7月31日（土） 11：00～12：00

人 員：読谷高等学校の図書委員の生徒と先生達 23名

日 時：昭和57年10月12日（火） 10：00～12：00

人 員：沖縄市図書館職員2名

日 時：昭和57年10月19日（火） 10：00～12：00

〈来館者〉

昭和57年9月20日（月） アメリカの大学出版協会会長 Mr. Koffler 夫妻、アメリカ研究委員会の委員と懇談、14：00～16：00

昭和57年11月9日（火） 国際文化会館客員司書 Miss Ann Baker Ward アメリカ研究委員会の委員と懇談 10：30～12：00

〈報 告〉

報告者：伊佐真一 「帰米報告・アメリカ図書館事情」

日 時：昭和57年9月17日（金） 15：00～17：00

〈出 張〉

9月8日（水） 山田勉参考調査係長、友利彦一総務係長、昭和57年度九州地区国立大学図書館協議会実務者連絡会議出席のため鹿児島大学へ10日まで

10月25日（水） 友利彦一総務係長、昭和57年度九州地区国立学校等係長研修出席のため福岡へ29日まで

10月31日(日) 伊佐真一閲覧係員, 図書館員のためのアメリカ研究ワークショップ参加のため東京へ11月3日まで

11月8日(月) 金城真理子雑誌係員, 昭和57年度大学図書館職員講習会受講のため東京へ13日まで

<月例映画上映>

10月22日(金) 23日(土) 「愛のコリーダ」 大島渚監督 入場者461人

11月19日(金) 20日(土) 「キッド」チャールズ・チャプリン監督 入場者264人

<上映予定>

12月17日(金) 18日(土) 映画研究会或は沖縄のアマチュアグループが製作した映画

1月14日(金) 「ペーパー・ムーン」 ピーター・ボクタンヴィチ監督

2月18日(金) 19日(土) 映画研究会或は沖縄のアマチュアグループが製作した映画

<月例談話会開催予定>

日時: 12月11日(土) 13:30~16:30

談話者: 石島 英(気象学) 教授(理学博士)

話: 「台風の話」

日時: 1月29日(土) 13:30~16:30

談話者: 我部 政男(思想史) 教授

話: 「学術研究資料の蒐集と保存について」

日時: 2月5日(土) 13:30~16:30

談話者: 国吉 正之(化学) 教授(理学博士)

話: 「高分子化合物の将来」

日時: 3月12日(土) 13:30~16:30

談話者: 比嘉 政夫(人類学) 教授

話: 「沖縄と東南アジア」

琉球大学附属図書館報 “びふりお” 第15巻 第5号〔通巻第57号〕

昭和57年12月1日

発行人 平良恵仁 沖縄県中城村字南上原858

電話(09889)5-2221 内線(2143)